

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【公開番号】特開2010-22703(P2010-22703A)

【公開日】平成22年2月4日(2010.2.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-005

【出願番号】特願2008-189830(P2008-189830)

【国際特許分類】

D 0 6 F 79/00 (2006.01)

【F I】

D 0 6 F 79/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月23日(2012.3.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被処理対象物に接触して被処理対象物を加熱処理するための加熱面を有する加熱処理部と、

被処理対象物において前記加熱処理部によって加熱処理された部分に、正イオンと負イオンとの正負イオンを照射するためのイオン照射部とを備える、アイロン。

【請求項2】

前記イオン照射部は、前記正負イオンを発生させるためのイオン発生部と、

前記イオン発生部において発生した前記正負イオンを被処理対象物において前記加熱処理部によって加熱処理された部分に放出するためのイオン放出口とを含む、請求項1に記載のアイロン。

【請求項3】

前記イオン照射部は、前記イオン発生部で発生した前記正負イオンを前記イオン発生部から前記イオン放出口に送出するための送風部を含む、請求項2に記載のアイロン。

【請求項4】

前記イオン放出口は、前記加熱面とほぼ同一の平面内に配置され、かつ、前記加熱面の少なくとも一部に連接するように配置されている、請求項2または請求項3に記載のアイロン。

【請求項5】

前記加熱面と前記イオン放出口とが第1の方向に隣接して配置されており、前記第1の方向に交差する第2の方向に沿った前記イオン放出口の内径は、前記第2の方向に沿った前記加熱面の幅よりも大きい、請求項2から請求項4までのいずれか1項に記載のアイロン。

【請求項6】

前記イオン照射部は、アイロンに対して着脱可能である、請求項1から請求項5までのいずれか1項に記載のアイロン。